

令和 7年 2月10日

(単位：千円)

[illegible]

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月10日

所属	0110350000	広報広聴課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	04	広報広聴費	事業 1	005	0 1 0 2 0 1 0 4
事業 2	020	広報事業費	事業 3	001	「広報はだの」等発行事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 毎月1日と15日の2回、1月15日号を除く年23回、毎号56,000部を発行。1日号は10ページ、15日号は6ページ立て、号により各課作成の特集紙面（2ページ）を折込む。新聞折込みと戸別配布、公共施設や民間施設への配架により配布している。令和4年10月からデジタル版広報はだのを発行
- ・目 的 まちづくりに欠かすことができない、市民と行政が課題や目標を共有し、知恵と力を出し合う「協働」を促す情報提供の手段として、的確に実施する
- ・SDGs 11 住み続けられるまちづくりを
17 パートナリーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効 果 市の行政情報やイベント情報を提供することで、市民との協働を図ることができる。
- ・目 標 値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 広報広聴規則
- ・計 画 総合計画 基本施策5-1-2

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率） : 27,911千円
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率） : 32,027千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 36,681千円
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率） : 36,681千円

3 令和5年度・令和6年度の実施内容[D]

- ・令和5年度 年23回、各回56,000部を発行
- ・令和6年度 年23回、各回56,000部を発行

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

市民にまちのことを一緒に考え、行動してもらうため、時宜を得たコンセプトを企画した。市民への取材等にも力を入れており、企画・編集方針として「見やすく、親しみやすく、思わず手に取ってみたいくなる」紙面づくりに取り組むとともに、デジタル版広報はだのを作成し、市民の購読機会の充実を図っている。

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月10日

所属	0110350000	広報広聴課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	04	広報広聴費	事業1	005	01020104
事業2	020	広報事業費	事業3	001	「広報はだの」等発行事業費

- 5 令和6年度の主な取組（課題解決への取組等）〔A〕
行政広報、政策広報、地域広報という「広報はだの」の持つ役割とバランスを考慮しながら、分かりやすい編集に努める。
- 6 要求額の増減理由・根拠〔A〕
 (1) 増減理由
印刷用紙の価格高騰のため増額
 (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
参考見積による。
- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）〔A〕
今後も、市民参加や市民との協働によるまちづくりを進めるために必要な情報の共有化を図るため、各部課等の施策を幅広い年齢層や各分野の市民へ情報提供する「広報はだの」を適切に発行する。
- 8 その他
 (1) 市制施行70周年を契機とした取組
 ・ 予算計上額（うち一般財源） 該当なし
 ・ 内 容
 (2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
 ・ 予算計上額（うち一般財源） 該当なし
 ・ 内 容
 (3) 自然災害対策への取組
 ・ 予算計上額（うち一般財源） 該当なし
 ・ 内 容
 (4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
 ・ 効果額（うち一般財源） 該当なし
 ・ 内 容

令和 7年 2月10日

(単位：千円)

[illegible]

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月10日

所属	0110350000	広報広聴課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	04	広報広聴費	事業 1	005	0 1 0 2 0 1 0 4
事業 2	020	広報事業費	事業 3	002	広報宣伝費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 市の施策、市民生活、催し等、本市に関する情報を市民のみならず、広く全国に向けて発信するため、新聞、テレビ、ラジオ、ホームページ、SNSその他の広報媒体を利用して広報宣伝活動を行う
- ・目 的 市民が安心して豊かに暮らすための情報や本市の地域資源である「山（丹沢）、名水、桜」を軸とする本市の魅力を様々な広報媒体を利用し、タイムリーに広く発信することにより、市民に郷土への誇りと愛着を深めてもらうとともに、本市の知名度向上と交流人口の増加を図る
- ・SDGs 11 住み続けられるまちづくりを
17 パートナースhipで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効 果 パブリシティや有料広告を組み合わせ、適宜、情報を発信することにより、多くの人々が本市の情報に触れる機会を創出する。また、それらの情報を入り口としてさらに多くの情報を取得する仕組みを充実させ、本市への来訪を誘導する
- ・目 標 値 市ホームページのアクセス件数

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 広報広聴規則
- ・計 画 総合計画 基本施策5-1-2

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率） : 20,496千円
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率） : 20,797千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 59,682千円
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率） : 18,487千円

3 令和5年度・令和6年度の実施内容[D]

- ・SNSによるタイムリーで広がりのある情報発信
- ・パブリシティ（報道機関への情報提供）による情報発信
- ・新聞、ラジオ、地域情報誌等の有料広告媒体を利用した情報発信
- ・ホームページによる情報提供
- ・「山」と「桜」をテーマに開設したWebサイトによる情報提供
- ・山（丹沢）の魅力発信イベントの開催
- ・はだのふるさと大使を活用した魅力発信、知名度の向上

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月10日

所属	0110350000	広報広聴課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	04	広報広聴費	事業1	005	01020104
事業2	020	広報事業費	事業3	002	広報宣伝費

・SNS写真・動画コンテストの開催

- 4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）〔C〕
本市の地域資源である「山（丹沢）、名水、桜」を軸に各課等が行う事業を取りまとめ、本市の魅力を発信し、新たな認知の獲得や来訪者の増加、市民の郷土への誇りと愛着の醸成に効果をあげた。
- 5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）〔A〕
市制施行70周年の記念映像を制作し、市民の誇りと愛着を醸成するほか、市外へも魅力の発信を推進する。
また、媒体それぞれの特性に応じた効果的な広報宣伝を引き続き実施する。
- 6 要求額の増減理由・根拠〔A〕
 - (1) 増減理由
市制施行70周年記念映像の制作及びホームページシステム更新に伴う初期構築費用の発生による増額
 - (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
現行のホームページシステムのサービス終了に伴う、新システムへの移行によるもの。
- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）〔A〕
選択と集中の観点から、限られた予算を有効に活用するため、「山（丹沢）、名水、桜」を軸に対象となる事業について、担当課等と緊密に連携しながらターゲットを絞った効果的な広報宣伝を実施する。また、SNSを活用した取組など時代に合った情報発信を充実させるとともに、市民や民間事業者等と連携することで、少ない予算で効果的な情報発信を推進する。
- 8 その他
 - (1) 市制施行70周年を契機とした取組
 - ・予算計上額（うち一般財源） 11,990千円
 - ・内 容 記念映像の制作
 - (2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
 - ・予算計上額（うち一般財源） 該当なし
 - ・内 容
 - (3) 自然災害対策への取組
 - ・予算計上額（うち一般財源） 該当なし
 - ・内 容
 - (4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
 - ・効果額（うち一般財源） 該当なし
 - ・内 容

令和 7年 2月12日

(単位：千円)

[illegible]

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7 年 2 月 12 日

所属	0110350000	広報広聴課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	04	広報広聴費	事業 1	005	0 1 0 2 0 1 0 4
事業 2	040	広聴事業費	事業 3	001	広聴事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 Web アンケート、わたしの提案、各種団体との懇談会等の実施
- ・目 的 まちづくりに欠かすことができない、市民と行政が課題や目標を共有し知恵と力を出し合う「協働」に必要な情報を効果的に収集するため
- ・SDGs 17 パートナリーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効 果 多くの市民や団体から意見を聴くことで市政へのアイデアや課題が把握できる
- ・目 標 値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 広報広聴規則
- ・計 画 総合計画 基本施策5-1-2

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率） : 850千円（Webアンケート等）
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率） : 954千円（Webアンケート等）
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 1,156千円（Webアンケート等）
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率） : 1,156千円（Webアンケート等）

3 令和5年度・令和6年度の取組内容[D]

- ・令和5年度 市民等からのメールやはがきで寄せられる意見の集約や対応のほかに、地区別市政懇談会をはじめ各種団体との懇談会やWebアンケート調査等を実施した。若者からの意見聴取を目的とする「高校生アンケート」を実施した。

Webアンケートの内容

- ・電子地域通貨・秦野市市制施行70周年・自治会SNSアプリ・食料支援
- ・弘法山公園・スポーツ施策・市職員の窓口・電話対応・森林セラピー
- ・第76回秦野たばこ祭・スポーツの実施状況・環境美化重点地区
- ・食品ロス削減・愛のメロディー・定住意向・こころの健康づくり
- ・表丹沢の魅力づくり・地域共生社会の実現・自転車の交通安全・図書館
- ・地球温暖化対策・犯罪被害者等支援・投票率向上・市民の日
- ・パートナーシップ宣誓制度

- ・令和6年度 市民等からのメールやはがきで寄せられる意見の集約や対応のほかに、地区別市政懇談会をはじめ

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0110350000	広報広聴課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	04	広報広聴費	事業 1	005	0 1 0 2 0 1 0 4
事業 2	040	広聴事業費	事業 3	001	広聴事業費

各種団体との懇談会やWebアンケート調査等を実施した。若者からの意見聴取を目的とする「高校生アンケート」を実施した。

Webアンケートの内容

- ・電子地域通貨・はだのブランド・大倉高原テントサイト・秦野市市制施行70周年
- ・図書館・市民の食生活・ジェネリック医薬品・市職員の窓口・電話対応
- ・第77回秦野たばこ祭・環境美化重点地区・食品ロス削減・公共交通の利用状況
- ・男女共同参画・自治会SNSアプリ・地球温暖化対策・定住意向・「広報はだの」
- ・OMOTANコイン認知度・生涯学習・オンライン行政サービス・投票率向上
- ・地域共生社会の実現・読書活動推進事業・表丹沢の魅力づくり
- ・こころの健康づくり・犯罪被害者等支援

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）〔C〕

市民からの意見に対し、迅速かつ丁寧な対応を心掛けるとともに、担当課に寄せられた要望や苦情についても、必要により対応した。

5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）〔A〕

インターネットを活用したWebアンケートや高校生アンケート調査を実施。また、各種懇談会、メール、はがき等に加えて、電子申請の活用など、より意見や要望を出しやすい環境を整え、積極的に市民からの意見を聴取し、事業の改善に役立てる。

6 要求額の増減理由・根拠〔A〕

(1) 増減理由

Webアンケートの委託料の増額

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

参考見積による。

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）〔A〕

継続して実施する。

8 その他

(1) 市制施行70周年を契機とした取組

・予算計上額（うち一般財源） 該当なし

・内 容

(2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

・予算計上額（うち一般財源） 該当なし

・内 容

(3) 自然災害対策への取組

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0110350000	広報広聴課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	04	広報広聴費	事業 1	005	0 1 0 2 0 1 0 4
事業 2	040	広聴事業費	事業 3	001	広聴事業費

- ・ 予算計上額（うち一般財源） 該当なし
- ・ 内 容
- (4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
- ・ 効果額（うち一般財源） 該当なし
- ・ 内 容

令和 7年 2月10日

(単位：千円)

[illegible]

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月10日

所属	0110350000	広報広聴課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	04	広報広聴費	事業 1	005	0 1 0 2 0 1 0 4
事業 2	050	広報事務費	事業 3	001	広報事務費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 「広報はだの」の発行、シティプロモーション等に必要な事務経費
- ・目 的 「広報はだの」の発行、シティプロモーション等の円滑な事務執行
- ・SDGs 11 住み続けられるまちづくりを
17 パートナリーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効 果 「広報はだの」の発行、シティプロモーション等の事務を円滑に
執行することで、市内外に本市の情報を効果的に伝えることができる
- ・目 標 値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 広報広聴規則
- ・計 画 総合計画 基本施策5-1-2

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率） : 358千円
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率） : 383千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 375千円
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率） : 375千円

3 令和5年度・令和6年度の取組内容[D]

- ・令和5年度 「広報はだの」の発行、シティプロモーション等の円滑な事務執行
- ・令和6年度 令和5年度と同様。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

最小限の経費で円滑な事業を執行できるよう、他自治体等との情報交換を継続して行う。

5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

市民への市政情報提供媒体である「広報はだの」の円滑な編集・発行に努めるとともに、市長定例記者会見やプレスリリース、民間広告媒体を活用した効果的なプロモーションなどにより、本市の情報や魅力発信に努める。

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月10日

所属	0110350000	広報広聴課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	04	広報広聴費	事業 1	005	0 1 0 2 0 1 0 4
事業 2	050	広報事務費	事業 3	001	広報事務費

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

コピー枚数の減少

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

過去の実績による。

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

継続して実施する。

8 その他

(1) 市制施行70周年を契機とした取組

・予算計上額（うち一般財源） 該当なし

・内 容

(2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

・予算計上額（うち一般財源） 該当なし

・内 容

(3) 自然災害対策への取組

・予算計上額（うち一般財源） 該当なし

・内 容

(4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

・効果額（うち一般財源） 該当なし

・内 容